



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月30日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 敬彦
 問合せ先責任者 (役職名)理事経理室長 (氏名)浜辺 昭彦 (TEL)03(6837)9304
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,707	1.6	432	42.2	484	23.6	334	24.4
2019年3月期第1四半期	4,631	8.4	304	△10.1	391	△11.3	268	△94.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	68.33	—
2019年3月期第1四半期	54.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,732	20,148	70.1
2019年3月期	29,323	20,131	68.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 20,148百万円 2019年3月期 20,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	6.9	830	12.6	900	0.6	620	△0.4	126.75
通期	20,000	9.2	1,400	19.7	1,500	10.1	1,100	14.5	224.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期1Q	4,900,000株	2019年3月期	4,900,000株
2020年3月期1Q	8,585株	2019年3月期	8,505株
2020年3月期1Q	4,891,468株	2019年3月期1Q	4,891,530株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、自動化・省力化投資需要の高まりにより設備投資は増加傾向が続き、個人消費も緩やかに回復するなど国内需要は底堅く推移しましたが、中国向けを中心とした輸出の減少により生産が悪化し、景気は停滞感の強い状況となりました。

当社製品関連分野におきましては、ファイン製品関係は、医農薬関連需要が減少したものの、電子材料関連需要が好調に推移しました。

このような情勢のもとで、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、製造原価の合理化など、一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ1.6%増収の47億7百万円となりました。利益面におきましては、販売数量の増加により、営業利益は4億32百万円（前年同四半期比42.2%増）、経常利益は4億84百万円（同23.6%増）、四半期純利益は3億34百万円（同24.4%増）となりました。

(部門別売上高)

(単位：百万円)

部門	製品グループ	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
			%		%		%
ファイン製品部門	医農薬関連化学品	1,772	38.3	1,297	27.6	△475	△26.8
	機能性化学品	1,455	31.4	1,946	41.3	490	33.7
	その他	456	9.9	505	10.8	49	10.7
	計	3,685	79.6	3,749	79.7	64	1.8
化成品部門	多価アルコール類	752	16.2	778	16.5	25	3.4
	その他	193	4.2	179	3.8	△14	△7.5
	計	946	20.4	957	20.3	11	1.2
合計		4,631	100.0	4,707	100.0	75	1.6

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売掛金及び棚卸資産が増加しましたが、預け金などが減少し、前事業年度末に比べ5億17百万円減少の132億15百万円となりました。

固定資産は、ファイン製品製造設備の増強など有形固定資産は増加しましたが、株価下落に伴い投資有価証券が減少し、前事業年度末に比べ72百万円減少の155億16百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ5億90百万円減少し、287億32百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金の減少などにより、前事業年度末に比べ5億25百万円減少の57億47百万円となりました。

固定負債は、その他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債の減少などにより、前事業年度末に比べ82百万円減少の28億35百万円となりました。

この結果、負債合計は85億83百万円となり、前事業年度末に比べ6億7百万円減少しました。

(純資産)

純資産は、201億48百万円となり前事業年度末に比べ16百万円増加しました。自己資本比率は前事業年度末の68.7%から70.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、2019年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	174	309
売掛金	5,285	5,601
商品及び製品	3,182	3,066
仕掛品	1,131	1,294
原材料及び貯蔵品	1,292	1,373
預け金	2,250	1,450
その他	416	119
流動資産合計	13,733	13,215
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,960	5,900
機械及び装置（純額）	3,332	3,335
建設仮勘定	1,803	2,065
その他（純額）	1,443	1,413
有形固定資産合計	12,540	12,714
無形固定資産	90	83
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,963	2,723
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,958	2,719
固定資産合計	15,589	15,516
資産合計	29,323	28,732
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,469	2,894
短期借入金	830	850
未払法人税等	241	164
賞与引当金	146	-
その他	1,586	1,838
流動負債合計	6,273	5,747
固定負債		
退職給付引当金	1,802	1,795
その他	1,115	1,040
固定負債合計	2,918	2,835
負債合計	9,191	8,583

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	14,836	15,024
自己株式	△13	△13
株主資本合計	18,717	18,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,414	1,244
評価・換算差額等合計	1,414	1,244
純資産合計	20,131	20,148
負債純資産合計	29,323	28,732

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,631	4,707
売上原価	3,628	3,551
売上総利益	1,003	1,156
販売費及び一般管理費		
発送費	96	96
給料手当及び賞与	235	222
退職給付費用	16	17
試験研究費	213	226
その他	136	161
販売費及び一般管理費合計	699	723
営業利益	304	432
営業外収益		
受取配当金	27	27
受取補償金	38	46
為替差益	43	-
雑収入	2	1
営業外収益合計	111	75
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	-	19
固定資産除却損	22	1
雑損失	0	1
営業外費用合計	24	23
経常利益	391	484
税引前四半期純利益	391	484
法人税等	123	150
四半期純利益	268	334

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。